

東名高速道路 豊橋新城スマートIC（仮称） 概要

令和3年7月

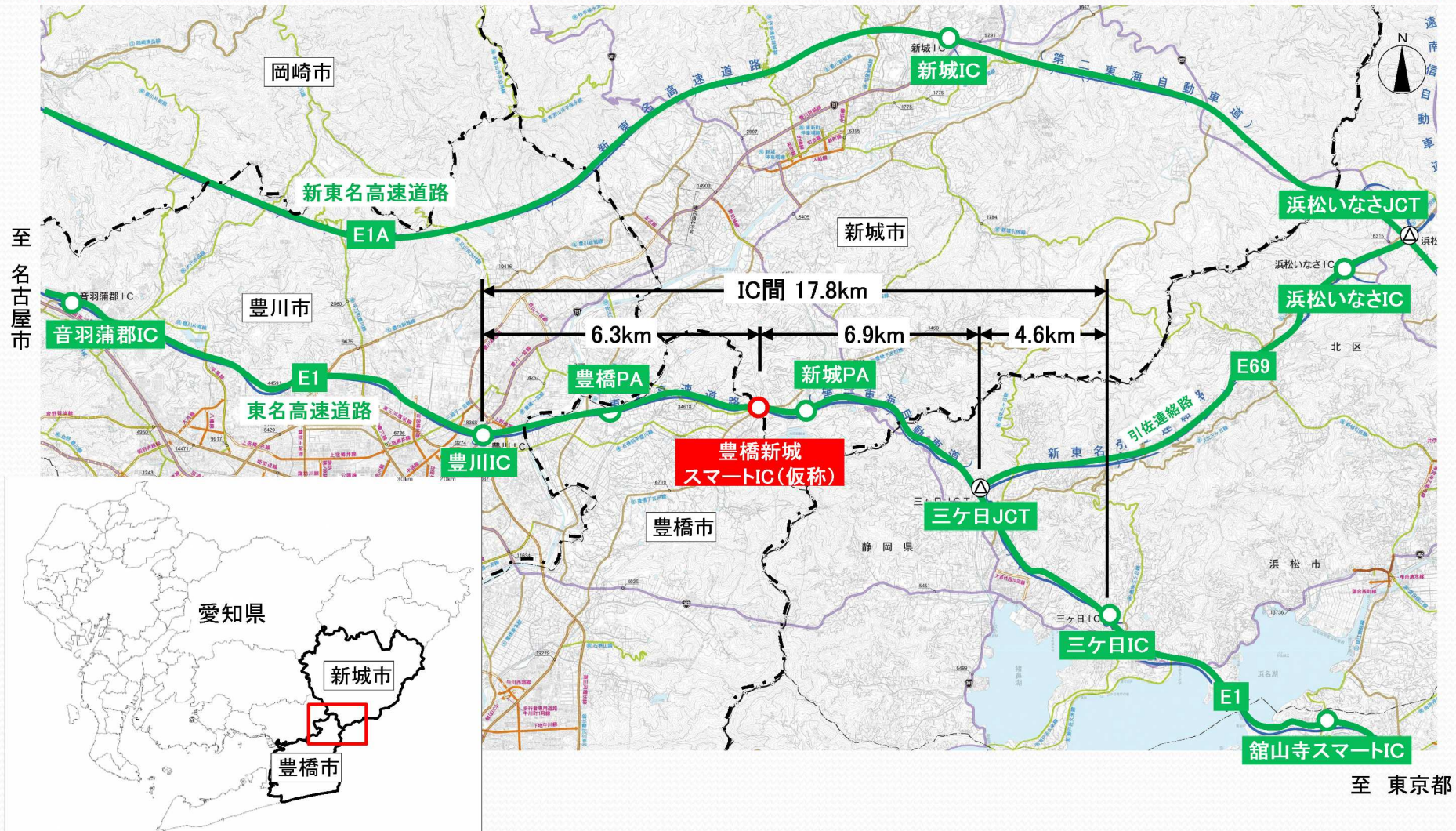
豊橋市
新城市

目 次

1. 路線名・位置図	2
2. 連結位置及び連結予定施設	3
3. 連結を必要とする理由	4
4. 管理・運営形態	5
5. スマートICの設置により期待される整備効果	6

1. 路線名・位置図

【高速自動車国道の路線名】 第一東海自動車道(東名高速道路)



2. 連結位置及び連結予定施設

【連結位置】

上り線

愛知県新城市富岡

下り線

愛知県豊橋市石巻萩平町

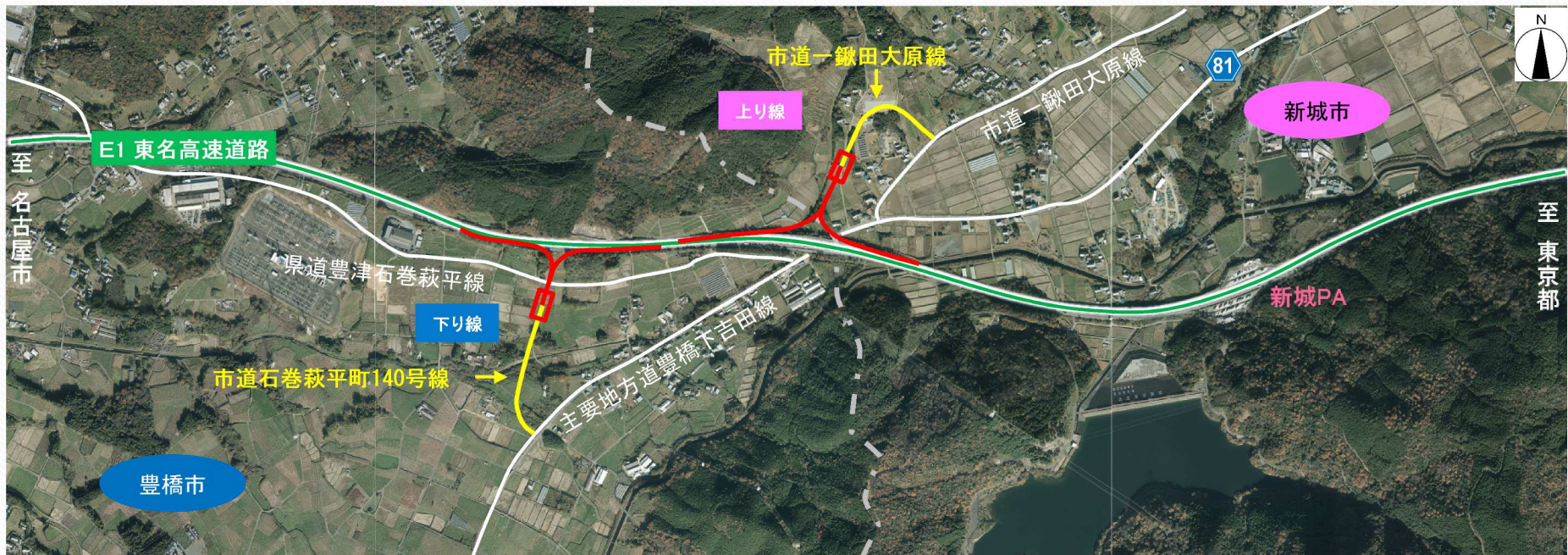
【連結予定施設】

上り線

新城市道一鍬田大原線

下り線

豊橋市道石巻萩平町140号線



凡例

- : 東名高速道路
- : 連結ランプ
- : 連結道路
- : その他道路

3. 連結を必要とする理由

➤ ①産業活動の支援

当該地域は、工業団地等から高速道路ICへのアクセスに時間を要している地域であり、高速道路ICへのアクセス性がよい豊川市や新城市、さらには豊橋市全体と比べても事業所数の減少率が大きく、就業者数を含む人口が減少し、地域の生産力が低下している。

当該地域の生産性を向上し、企業活動を高め工業団地の衰退を抑止するためには、現状より一般道路の走行距離を短縮し定時性を確保する必要があり、そのためにはスマートIC設置が最も効果的である。また、三河港の企業をはじめとする多くの企業から、津波の被害がない内陸工業団地を希望する声があり、スマートICの整備による新たな企業進出や集合人口の増加につながり、地域の人口増加も期待できる。

➤ ②地域活性化・観光振興

豊橋市北東部や新城市南西部には、史跡馬越長火塚古墳群や桜淵公園をはじめとする観光資源が多数存在するが、豊川ICからのアクセス性が悪く、観光地への回遊が少ない傾向にある。

スマートIC設置により、観光地へのアクセス性が向上し、当該地域周辺の周遊観光が実現されるなど、今後の観光客の増加や地場産業を活用した地域活性化が期待される。

➤ ③救急医療

新城市八名地区では全体の4割を市外の第2・3次救急医療施設へ搬送しているが、緊急時あるいは、重篤患者を聖隷三方原病院へ搬送する経路である国道301号には、道路線形不良区間(平面線形不良16箇所、縦断線形不良約2.0km)が点在しており、搬送時には患者にかかる負荷が大きい。

国道301号の周辺は山地であり、道路改良は高価かつ難しいことから、搬送時間を短縮し、走行のしやすさを確保し、搬送時の患者への負荷を軽減するためには、スマートICを設置し道路線形の広い高速道路利用による搬送とする必要がある。

➤ ④防災機能の強化

豊橋市では、災害時に広域支援ルートである国道1号および豊川ICからのアクセス道路である国道151号が浸水し通行できない可能性があるため、救援・救護活動、緊急物資の輸送等が停滞する可能性がある。

救援・救護活動、緊急物資の輸送等において災害時にも浸水する可能性がない広域支援ルートを確保するためには、スマートIC設置を必要とし、新たな支援ルートを確保する必要がある。

4. 管理・運営形態

①運用形態:フルインター形式

②運用車種:ETC車載器を搭載した全車種

(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)

③運用時間帯:24時間

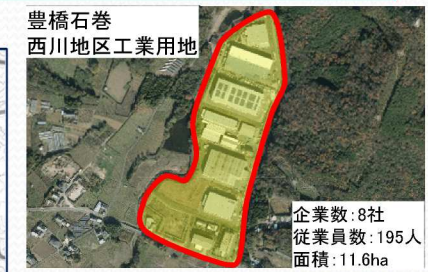
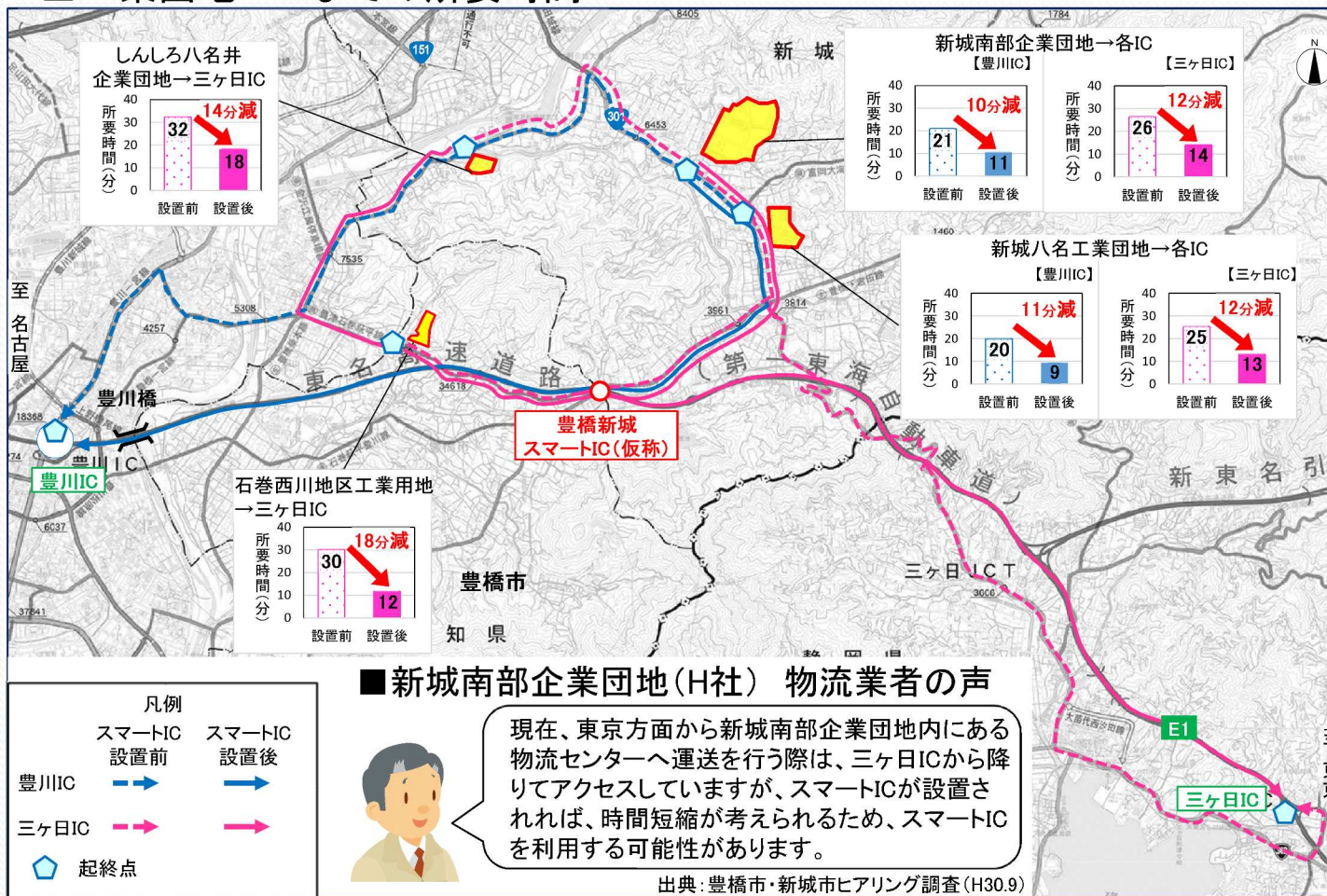
※当該IC供用後も継続して、管理・運営形態をフォローアップし、必要に応じ見直す。

5. スマートICの設置により期待される整備効果

【①産業活動の支援（1）】

- スマートICの設置により、高速道路から企業団地へのアクセス性が向上し、企業団地発展を支援することで、新たな雇用の創出、産業振興が期待される。
- 各工業団地から東京方面への高速道路ICまでのアクセス時間は、12～18分短縮できる。
- 各工業団地から名古屋方面への高速道路ICまでのアクセス時間は、10～11分短縮できる。

■工業団地～ICまでの所要時間



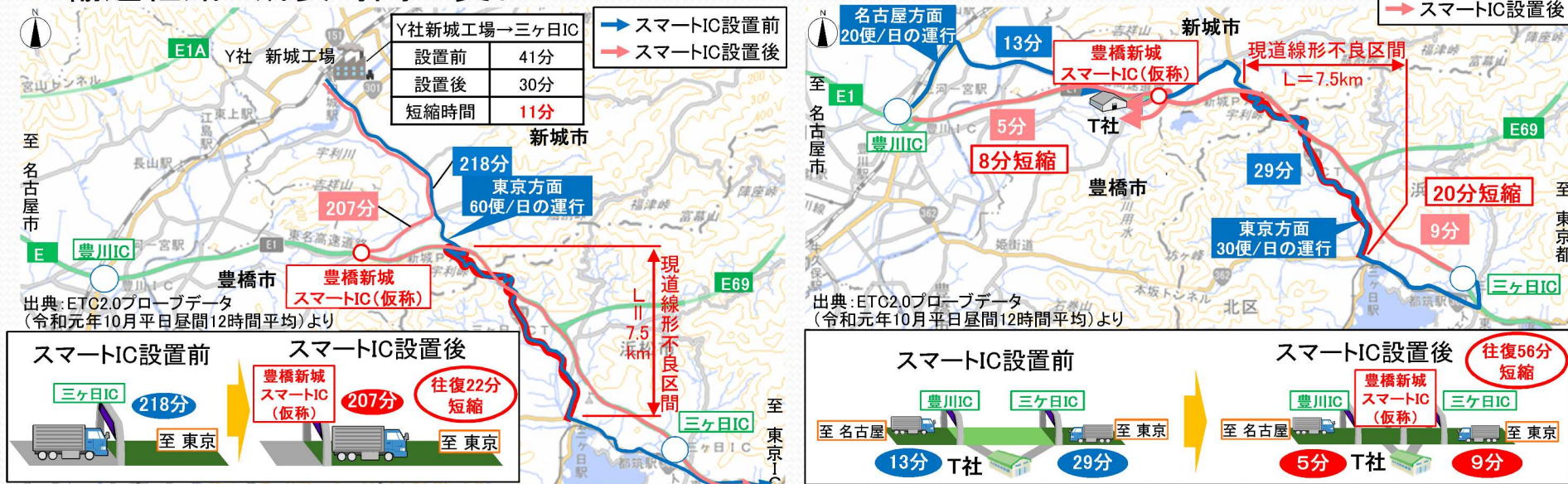
出典：ETC2.0プローブデータ(令和元年10月平日昼間12時間平均)より
(しんしろ八名井企業団地、豊橋石巻西川地区工業団地の名古屋方面は、設置前後共に豊川ICを利用)

5. スマートICの設置により期待される整備効果

【①産業活動の支援（2）】

- 豊橋市のT社豊橋営業所や新城市のY社新城工場は、スマートIC設置により輸送時間が往復22分～56分短縮され、年間労働時間が5,460～6,270時間削減できる。労働時間の削減により約1,580～2,020台/年の増便が可能となり、新たな雇用の創出や工業振興に期待できる。
- また、輸送ルートの変更（一般道⇒高速道路）により、現道の線形不良区間を通行しないことで、脱輪、横転事故等による輸送への影響を回避できる。

■輸送経路と所要時間の変化



■Y社 委託物流業者の声



Y社からの物流量をこなすために、トラックの回転率を高める必要があります。そのために積極的に高速道路を利用しております。スマートICが設置されるとさらに所要時間が短縮し輸送効率化が図れると期待しています。

出典：豊橋市・新城市ヒアリング調査（H30.8）

■T社豊橋営業所の声



弊社は東名高速道路の沿線に立地しており、スマートIC設置により輸送時間短縮の効果が大きく望め、従業員の労働時間削減が見込めます。

出典：豊橋市・新城市ヒアリング調査（H30.8）

年間約91時間短縮【1日60便】

労働時間が年間約5,460時間削減

約1,580便/年の増便が可能!!!

年間約231時間短縮【東西1日50便】

労働時間が年間約6,270時間削減

約2,020便/年の増便が可能!!!

5. スマートICの設置により期待される整備効果

【②地域活性化・観光振興】

○次郎柿の生産面積で全国一を誇る豊橋市では、特産品の次郎柿を生かし、海外プロモーションを行い、海外の輸出量が増加している。平成30年度より石巻観光園は訪日外国人を対象とした次郎柿フルーツ狩りツアーを実施。

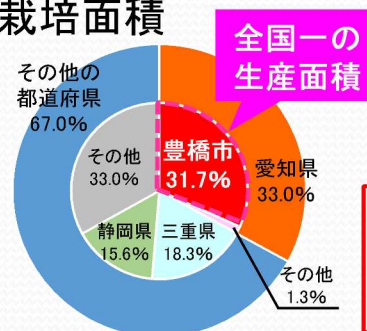
○スマートIC設置により観光地へのアクセス性が向上し、観光ツアーに組み込まれやすくなる等、今後の観光客の増加や、地場産業を活用した地域活性化が期待される。

■豊橋新城スマートICを起点とした観光周遊イメージ



出典: ジャパンフルーツHP

■豊橋市(次郎柿)の栽培面積

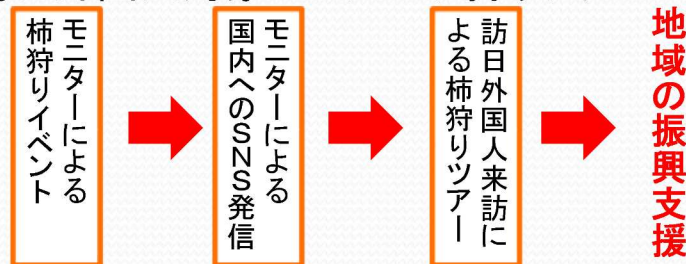


豊橋特産「次郎柿」の輸出が急拡大。マレーシアではH29年度と比較して、H30年度の注文が10倍に増加。(0.18t→1.8t)

出典: 平成27年特産果樹生産動態等調査 JAあいち経済連(豊橋市)

出典: 東日新聞(H30.11.15(木))

■訪日外国人対象のフルーツ狩りツアー



■企画会社の声



観光地までのアクセス性が向上し、さらに目的地までわかりやすくアクセスできれば、観光促進に寄与すると思います。さらに目的地まで近くなれば、今後旅行会社がツアーの中に訪問先として組み込むことも考えられます。

出典: ヒアリング調査(H31.1)

